



人とのつながりは、お互い顔の見える関係から始まる支え合いであり、サークル活動、趣味の仲間、ご近所さんとのお裾分け、お茶飲み仲間は、5年後、10年後の人生を豊かに過ごすための糧となります。つながる通信では、それらを「地域のお宝」としてご紹介します。



藪塚本町 絵手紙の会

藪塚本町絵手紙の会は、毎月第2・4土曜日の13:00～15:00に、藪塚本町中央公民館で活動をしています。会員は15名で、楽しくコミュニケーションを取りながら絵手紙を楽しんでいます。藪塚本町文化協会の加入団体であり、毎年行われる文化祭では、展示を行っています。参加者は、季節に合わせたテーマを考えたり、自宅で咲いた花を持ち寄るなど、自由な発想で絵手紙を完成させます。



絵手紙の会 ↑
Instagram



公民館活動の他に、4月はお花見を兼ねての青空教室が行われました。桜の木の下で食事を楽しみながら絵手紙を描くなど、外に出る活動も会員の皆さんにとって良い刺激になっています！



「今日はどんな花を描くの?」「素敵な色合いだね♪」など、絵手紙を描きながら、楽しくおしゃべりすることも楽しみの一つです！

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

参加者にお話を伺いました！

藤森有一さん

藪塚本町絵手紙の会の会長。普段は、ブルーメンハイムトーホーで介護の仕事をしています。絵手紙の良さをもっと多く方に知ってもらいたいという想いで、会の様子をSNSを使って発信しています。



藤森さんの作品



絵手紙を描く藤田さん



植木喜江さん(写真左) 藤田玲子さん(写真右)

植木さんは広報をきっかけに、藤田さんは郵便局で絵手紙が展示されているのを見たことをきっかけにこの会に参加しました。お二人はこの会で出会い、今では定期的にお茶飲みをする仲になりました。

津島正子さん

文化祭で絵手紙の会の作品を見て、自分も描いてみたいと思ったことをきっかけで始めました。当時の講師に「絵手紙はヘタでもいい、ヘタがいい」と教えてもらったことが心に残っていて、その言葉があったから今でも楽しく続けられています、とお話されていました。



絵手紙を描く津島さん

／最後は全員で品評会！／

最後に、この日描いた絵手紙をホワイトボードに貼り、それぞれがどのような想いで絵手紙を描いたのかを振り返ります！お互い評価し合うことで張り合いが生まれます。



check

藪塚本町絵手紙の会は、コミュニケーションを取りながら絵手紙を楽しむことを大切にしている会だと感じました。最近できたお店に今度みんなで行ってみようという話も聞こえ、絵手紙を描くこと以外の活動や、おしゃべりができることも、楽しく長く会を続けることができる理由の一つになっています。

〈お問合せ〉

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

住所：太田市飯塚町1549 電話：0276-46-6208



Instagram



つながる通信